

様式1号
(総括票)

事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の概要

氏名又は名称	K O A株式会社							
代表者名	氏名	花形 忠男	役職名	代表取締役				
主たる事務所の所在地	長野県上伊那郡箕輪町大字中箕輪14016							
主たる事業の分類	大分類	E 製造業						
	中分類	2821 抵抗器・コンデンサ・変成器・複合部品製造業						
主たる事業の概要	抵抗器製造業							
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者						
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者						
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者						
	<input type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者						
原油換算エネルギー使用量	8919	kl	その他ガス排出量合計	1106	t-CO ₂	自動車の台数	62	台

2 計画期間及び報告対象年度

計画期間	26	年度	～	28	年度	報告対象年度	28	年度
------	----	----	---	----	----	--------	----	----

3 計画書（報告書）の公表方法等

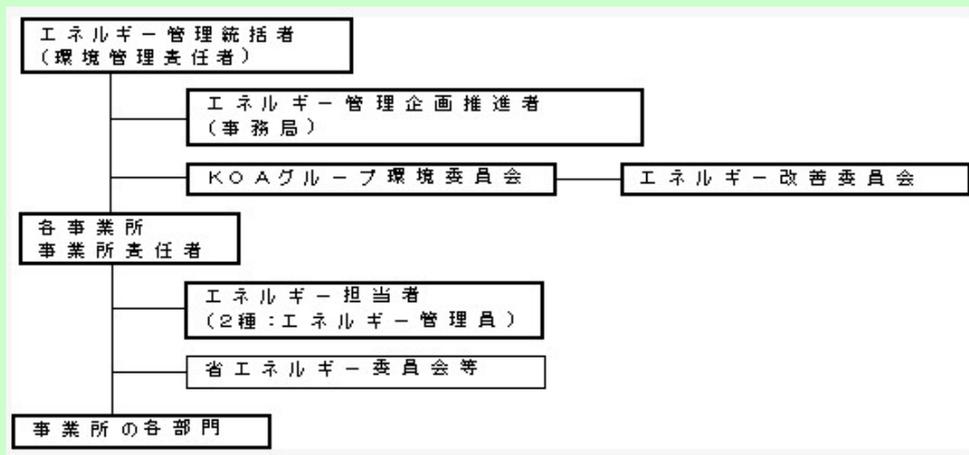
<input type="checkbox"/>	ホームページ	
<input type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	
<input checked="" type="checkbox"/>	その他	連絡先 K O A (株) 経営管理イニシアティブCSR推進センター社会環境グループ 0265-70-7176

様式1号
(総括票)

4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

KOAは環境方針に基づき、「省エネ法」、KOAの「環境マニュアル」、「品質マニュアル」を順守し、省エネルギー活動に努めるものとする。

5 温室効果ガス排出抑制のための組織体制



温暖化対策責任者 : 常務取締役 (エネルギー管理統括者)
温暖化対策届出担当者 : CSR推進センター 社会環境グループ (エネルギー管理企画推進者)
温暖化対策担当者 : 匠の里 下伊那BF業務グループエネルギー担当者 (エネルギー管理員)
温暖化対策担当者 : 七久里の杜 SIMグループ エネルギー担当者 (エネルギー管理員)

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標等の状況

基準年度	基準排出量	18,122	t-CO ₂	寄与度の合計		単位		
25年度	調整後排出量	13,217	t-CO ₂	基準原単位		t-CO ₂ /		
目標年度	目標排出量	17,578	t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた目標削減率※
28年度	目標削減率	3.00	%	目標削減率	3.00	%		3
目標設定に関する説明	<p>現在、KOA長期目標としてエネルギー起源CO₂排出量原単位を2015年度（平成27年度）に2010年度比5%低減をあげて省エネ活動に取り組んでいる。2013年度は寄与度で約21%の低減となった。個々の事業所については、前期以上の改善目標をあげ取り組んでいる。活動量を基準と同等とにおいて年平均1%低減で算出した。</p> <p>基準年の電気買電量の記入ミスがあり基準排出量を修正した。</p>						※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する（以下同じ）。	
第一年度	排出量	18,500	t-CO ₂	寄与度の合計		単位		
	調整後排出量	18,360	t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた目標削減率※
26年度	削減率	(2.09)	%	削減率		%		3.6
排出量等の増減理由	多くの事業所での生産数量が増加したが、排出量の増加率が抑えられたことによる。							
第二年度	排出量	17,358	t-CO ₂	寄与度の合計		単位		
	調整後排出量	17,260	t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた目標削減率※
27年度	削減率	4.21	%	削減率		%		6.5
排出量等の増減理由	ユーティリティー設備の継続的な更新、焼成炉の新ヒーター制御の導入と更新、排気用送風のコンプレッサーからブロー変更、LDレーザーの導入による電力量の削減など主力工場での対策により原単位の寄与度を低減できた。							
第三年度	排出量	18,507	t-CO ₂	寄与度の合計		単位		
	調整後排出量	18,369	t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた目標削減率※
28年度	削減率	(2.13)	%	削減率		%		14.6
目標の達成状況及び排出量の増減理由	エアコン・チラー・照明・トランスなどのユーティリティー設備の継続的な更新、電力消費量の大きい焼成炉・レーザー機器などの生産設備の更新・改良・新規導入の他、待機運転時の温度低下・ヒーター制御改善・圧力空気配管系からの漏気調査と補修対策を引き続き実施することが出来た。							

様式1号
(総括票)

6の2 エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標等の状況

基準年度	基準排出量	682	t-CO ₂			単位		
25年度	調整後排出量		t-CO ₂	基準原単位		t-CO ₂ /		
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた目標削減率 [※]
年度	目標削減率		%	目標削減率		%		
目標設定に関する説明								※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。
第一年度	排出量		t-CO ₂			単位		
	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた目標削減率 [※]
年度	削減率		%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第二年度	排出量		t-CO ₂			単位		
	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた目標削減率 [※]
年度	削減率		%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第三年度	排出量		t-CO ₂			単位		
	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた目標削減率 [※]
年度	削減率		%	削減率		%		
目標の達成状況及び排出量の増減理由								

様式1号
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標等の状況

基準年度	基準排出量	172	t-CO ₂			
25年度						
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	削減率		%
年度						
目標設定に関する説明						
第一年度	排出量		t-CO ₂	削減率		%
年度						
排出量等の増減理由						
第二年度	排出量		t-CO ₂	削減率		%
年度						
排出量等の増減理由						
第三年度	排出量		t-CO ₂	削減率		%
年度						
目標の達成状況及び排出量の増減理由						

7 重点対策の実施状況

段階	連番	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I、II	1	燃料使用量等の定期的な把握						
	2	エコドライブの励行						
III、IV	—	次世代自動車の導入						

様式1号
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	対策内容	計画		実績	
			実施 予定年 度	削減見込量 (t-CO ₂)	実施年度	推計削減量 (t-CO ₂)
1	エネ起	360799・360703 コンプレッサーの高効率機器への更新	26	108	26	12
2	エネ起	380751・380752 INV又はLED照明への更新	26	19	26	2
3	エネ起	その他 エアコンの高効率機器への更新	26	58	26	29
4	エネ起	330299 ボイラー熱源からヒートポンプシステムへの転換	27	128	26	78
5	エネ起	330252 クリーンルームFFUのファンモーターの小型化	28	32	27	39
6	エネ起	その他 高効率恒温槽の導入	26	20	26	10
7	エネ起	350699 高効率変圧器への更新	27	7	28	12
8	エネ起	損失防止・管理強化	26	108	26	99
9	エネ起	360703 コンプレッサーの更新			28	6
10	エネ起	330299 その他 エアコン更新			28	22

9 自然エネルギー源利用設備等の導入状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度
太陽光発電	kW	57.02	0	57.02	57.02	57.02

10 クレジット等に関する取組状況

クレジットの種類	単位	基準年度	計画期間	第一年度	第二年度	第三年度
グリーンエネルギー証書 (電気)	tCO ₂					
グリーンエネルギー証書 (熱)	tCO ₂					
J-クレジット制度により 創出されたクレジット	tCO ₂					
県が認証したクレジット	tCO ₂					
電気の利用に伴うもの	tCO ₂	4592		140	98	138
低炭素電力の利用	tCO ₂					

様式1号
(総括票)

1.1 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出状況 (所、t-CO₂)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上	0		0		0		0	
1,500k1以上 3,000k1未満	2	8,743	2	9,048	2	8,461	2	8,767
1,500k1未満	7	9,379	7	9,452	7	8,897	10	9,739
合計	9	18,122	9	18,500	9	17,358	12	18,506

1.2 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出状況 (t-CO₂)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO ₂				
CH ₄				
N ₂ O	34	46	54	89
HFC				
PFC	648	439	500	398
SF ₆				
NF ₃				619
合計	682	485	554	1106

1.3 次世代車使用台数及び導入計画 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車				
電気自動車				
燃料電池自動車				
クリーンディーゼル自動車				
その他				
合計	0	0	0	0
自動車総数	46	61	61	62
次世代車導入割合				

様式1号
(総括票)

1.4 中小企業支援

区分	内容
中小企業への省エネ診断	上伊那地区経営者協会主催の「やさしいエネルギー診断」に診断員として参加
その他	特になし

1.5 交通対策

区分	実施内容
ノーマイカー通勤	マイカー通勤率 97.3% 広域からの通勤に対して、交通の便が悪いことなどあり実施なし
公共交通機関の利用促進	特になし
来客者の交通対策	特になし
物流の合理化	社内定期便の活用

1.6 環境マネジメントシステム導入状況

番号	名称	導入年
1	ISO14001	1998年4月
2		
3		

1.7 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

基準年度実績	5項で記載のエネルギー改善委員会を各事業所を開催事務局として5回開催し、エネルギー担当者による省エネパトロールの実施と省エネ提案を行い、次回毎にフォローアップを実施している。	
第一年度実績	①KOA森林塾として測量測樹・植林から間伐（伐木・造材）に関する知識、技術の習得のための講座にて、伊那市近隣の里山にて年36日の森林整備を含む指導を実施 ②上伊那農業高校緑地創造科のチェーンソー研修の講師を担当実施（11/12・13）	
第二年度実績	①上伊那農業高校緑地創造科のチェーンソー研修の講師を担当実施（11/16・17） ②伊那北高校にて職業観醸成（林業に関して）講師を担当（11/19） ③長野県主催「産業廃棄物3R実践講習会」にて事例発表を行った（10/22） ④森林塾にて講習会の中で0.2haの間伐を実施	
第三年度実績	①上伊那農業高校緑地創造科のチェーンソー研修講師を担当実施（10/31・11/1） ②中川村＜なかがわ里山保全の会＞伐木造材講師（12/17） ③辰野町＜新町山管理委員会＞チェーンソー安全作業講習講師（2/18） ③KOA森林塾植林 伊那市横山0.04haヒノキ100本（4/22）	

1.8 自由記載欄

区分	内容	削減量(tCO ₂)
基準年度以前の取組み	総括票6-1に記載のとおり	
その他	KOAグループとして、2010年度に1990年度比エネルギー起源CO ₂ 排出量を-6%削減に取り組み、2010年度は-15%、約束期間最終年の2012年度は-21%（5年平均 -18%）とすることができた。	6,200